

透医第 29007 号
平成 29 年 1 月 31 日

会 員 各 位

公益社団法人日本透析医会
会 長 秋澤 忠男
研修委員会委員長 大平 整爾



日本透析医会研修セミナー開催のご案内

本年 5 月 21 日（日）に「透析医療における Current Topics 2017『高齢者透析療法を再考する』（東京開催）」を下記のとおり開催いたします。

この研修会は、透析医療の現状に即応し実地臨床に役立つ知識と考え方を伝達することを目的とし、各位のご参加をいただきたくご案内申し上げます。

会員以外の方もご参加いただけますので、多数の先生方・コメディカルの方々のご参加をお待ちしております。

記

主 催 日本透析医会 研修委員会

日 時 平成 29 年 5 月 21 日（日）8：45～16：45

場 所 コクヨホール（JR 品川駅港南口）
東京都港区港南 1 丁目 8 番 35 号
TEL 03-3474-6092（当日のみ）

参加費 2,000 円

参加申込 FAX による事前申込みが必要です。（別添をご参照ください）

（申込受付期間：平成 29 年 3 月 1 日（水）～3 月 31 日（金）
※定員（300 名）に達した場合は、申込受付期間内であっても受付を
締め切らせていただきます。）

単位取得について

- ①一般社団法人日本透析医学会の認定医制度 3 単位
- ②6 学会合同認定「透析療法指導看護師」の受験資格ポイント（4 ポイント）
- ③透析療法合同専門委員会「透析技術認定士」認定更新点数（5 点）

問合せ先： 日本透析医会事務局

TEL 03 - 3255 - 6471

E-mail info@touseki-ikai.or.jp

日本透析医会研修セミナー
透析医療における Current Topics 2017（東京開催）

参加申込について

【開催概要】

開催日：平成 29 年 5 月 21 日（日）

会 場：コクヨホール

【お申し込み方法とご参加までの流れ】

- 参加申込書に必要事項をご記入の上、申込受付期間内に FAX（03 - 3255 - 6474）にて事務局宛にお送りください。
- 4月上旬に参加申込書へご記入いただきました住所宛に参加証引換券（はがき）をお送りいたします。お手元に参加証引換券（はがき）が届かない場合には、必ず事務局までご連絡ください。
- キャンセルの場合にはご連絡ください。
- 研修セミナー当日は、参加証引換券をご持参の上、参加費（2,000 円）を受付にてお支払いください（事前振込ではありません）。

【申込受付期間】

平成 29 年 3 月 1 日（水）～3 月 31 日（金）

【お申し込みにあたってのご注意】

- 定員（300 名）に達した場合は、申込受付期間内であっても受付を締め切らせていただきますので、ご了承ください。締切はホームページにてご案内いたします。
- 複数名でご参加の場合は、お手数ですが、人数分の申込書をご用意ください。

【お問い合わせ】

公益社団法人日本透析医会 事務局

〒101-0041 東京都千代田区神田須田町 1 - 15 - 2 淡路建物ビル 2 階

T E L : 03 - 3255 - 6471

F A X : 03 - 3255 - 6474

E-mail : info@touseki-ikai.or.jp U R L : <http://www.touseki-ikai.or.jp/>

送信先：公益社団法人日本透析医会事務局

FAX : 03 - 3255 - 6474

申込受付期間：平成 29 年 3 月 1 日（水）～3 月 31 日（金）

日本透析医会研修セミナー

透析医療における Current Topics 2017（東京開催）

参加申込書

下記全項目をご記入の上、FAX にてお送りください。

【参加者】

フリガナ	
氏 名	
所属施設	
職 種	☐ 医師 ☐ 看護師 ☐ 臨床工学技士 ☐ その他（ ）

【連絡先】（参加証引換券（はがき）の送付先）

☐ 所属施設 ☐ 自宅	
住 所	〒
電 話	(☐ 所属施設 ☐ 自宅 ☐ 携帯)

※ 電話にて確認をさせていただく場合がございますので、平日の日中に連絡がとれる電話番号をご記入ください。

日本透析医会研修セミナー
透析医療における Current Topics 2017（東京開催）
「高齢者透析療法を再考する」

日 時 平成 29 年 5 月 21 日（日）8：45～16：45

場 所 コクヨホール（JR 品川駅港南口）

公益社団法人 日本透析医会

開催の趣旨

治療の有用性をどう判断するか

今回の研修セミナーでは、話題になり続けている「高齢者に対する透析」を取り上げ、幾つかの側面からの分析を試みました。

先刻ご承知のように、2014 年末現在の日本透析医学会統計資料によりますと、(1) 全透析患者の平均年齢は 67 歳、(2) 2014 年導入患者の平均年齢は 69 歳、(3) 最も割合の高い年齢層は男性で 70～75 歳 (15.5%)、女性で 75～80 歳 (16.4%) でした。2014 年末の総患者数約 32 万人中 65 歳以上の者が 64% を占めることや 90 歳以上の維持透析患者は男女総数で 5,005 人にも達するとの報告に接しますと、透析患者の高齢化を強く実感いたします。

これは取りも直さず ADL や QOL が既に低い人々がこの治療の対象者となっていることを示しています。但し、高齢者においても健康較差は大きく、2016 年 9 月 5 日の熊本日日新聞は透析を受けて 5 年、100 歳を迎えて長寿を喜び透析に感謝する女性を報じていました。

さて、どの様な療法であっても、その療法が患者に与える負担や苦痛よりも患者が同療法から受ける恩恵が大きく病苦の改善を期待できるのであれば、得られる QOL・ADL の評価という大問題があるにせよ、それを開始し継続することを原則といたしましょう。

逆にある療法の患者に与える負担や苦痛が効用や恩恵を大幅に上回っている、ある程度の延命をもたらすと予測されても、療法の開始や継続は大いに躊躇されることになります。しかし、これは言わば医療者の立場からの考え方であり、患者側がどのような態度を採るかは、話し合いの仕方次第です。医療者の経験・見識・意思疎通術などが、治療の方向を決めてしまうとも言えます。高齢者の暦年齢と生理学的年齢には個人差が大きく乖離があることは稀ではなく、身体機能だけではなく精神・心理機能をも含めた適正な評価法を採用することが今後一層透析導入の可否判断には不可欠となります。

当該患者の高齢化により、維持透析療法の意義が様変わりしました。往時、青少年・壮年の患者に何としても生き抜いて（生き抜かせて）社会復帰を果たす（果たさせる）ことが目指されたのですが、昨今では定年退職後の人生を透析療法とどう折り合いを付けて過ごしつつ命を全うして貰うか換言すれば生活支援と看取りを患者本人・家族と共に透析スタッフが模索することが求められていると感じております。

願わくば、高齢者の生命終焉に対して満足感と最後の輝きを与えるために、医療者として何を成すべきかが最終的に問われることになります。医療者の死生観、人生観が問い質されることでもあります。医療としての総仕上げとでも云うべき諸事項を、皆様と共に学び考えたいと思います。

研修委員会委員長 大 平 整 爾

プ ロ グ ラ ム

- 8:45- 8:55 開会の辞 秋澤忠男（日本透析医会会長）
開催の趣旨 大平整爾（研修委員会委員長）

<午前の部>

- 8:55- 9:45 演題 慢性腎臓病における認知機能障害と脳萎縮
演者 鶴屋和彦（九州大学大学院包括的腎不全治療学）
司会 山本裕康（厚木市立病院）
- 9:55-10:45 演題 高齢透析患者の栄養と運動
演者 伊丹儀友（伊丹腎クリニック）
司会 佐中 孜（江戸川病院生活習慣病 CKD センター）
- 10:55-11:45 演題 高齢者の運動機能障害
演者 今井 亮（桃仁会病院整形外科）
司会 天野 泉（名古屋バスキュラーアクセス天野記念診療所）

11:55-13:35 昼休み
(12:00-12:30 日本透析医会通常総会)

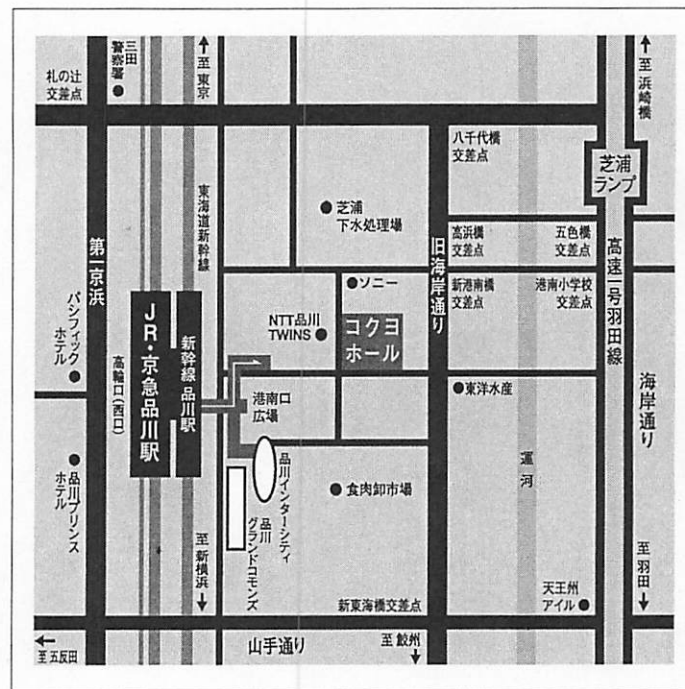
<午後の部>

- 13:35-14:25 演題 高齢透析患者との会話のポイント
演者 室谷典義（JCHO 千葉病院）
司会 頼岡徳在（広島腎臓機構）
- 14:35-15:25 演題 高齢者に対する透析療法の工夫
(治療法選択、透析条件・処方など)
演者 小松康宏（聖路加国際病院）
司会 秋葉 隆（関川病院）
- 15:35-16:25 演題 高齢透析患者の ADL & QOL への一考察
(導入・非導入・継続・継続中止)
演者 大平整爾（札幌北クリニック）
司会 鈴木正司（信楽園病院腎臓内科）
- 16:35-16:45 閉会の辞 六戸寛治（研修委員会担当理事）

※各講演後に 10 分間の質疑応答あり

参加される方々へ

1. 参加費 2,000 円
2. 定員 300 名
※定員になり次第締め切らせていただきますので、ご了承ください。
3. 参加申込
 - ・ご参加には、事前申込みが必要です。
 - ・事前申込みは、FAX にて受付いたします。詳細はホームページをご覧ください。
 - ・日本透析医学会会員以外の方もご参加いただけます。
4. 単位取得について
 - ① 一般社団法人日本透析医学会の認定医制度 (3 単位)
 - ② 6 学会合同認定「透析療法指導看護師」の受験資格ポイント (4 ポイント)
 - ③ 透析療法合同専門委員会「透析技術認定士」認定更新点数 (5 点)
5. 呼び出しについて
会場内での呼び出しは緊急の場合以外は致しません。



コクヨホール
東京都港区港南 1 丁目 8 番 35 号
TEL 03-3474-6092 (当日のみ)

問い合わせ先

公益社団法人日本透析医学会 事務局
TEL : 03-3255-6471 FAX : 03-3255-6474
E-mail : info@touseki-ikai.or.jp
URL : <http://www.touseki-ikai.or.jp>